

報道関係各位

2013年9月13日

障害者雇用優良事業所等全国表彰にて(後援:厚生労働省) 『優秀賞』受賞!(連続5回・通算6回入賞)

大東建託グループの特例子会社である大東コーポレートサービス株式会社(本社:東京都港区、社長:村田洋司)は、平成25年度障害者雇用職場改善好事例(主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、後援:厚生労働省)において、精神障害者の職務創出・職域拡大と職場定着に対する取り組みが認められ、優秀賞を受賞いたしましたので、お知らせします。

■「障害者雇用職場改善好事例」で、『優秀賞』を受賞しました

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、例年行っている「障害者雇用職場改善好事例」のテーマを今年度は「精神障害者の職務創出、職域拡大および職場定着についての取り組み」とし、優れた取り組みを行った企業を募集しました。そのなかで、大東コーポレートサービスは『優秀賞』を受賞いたしました。

■『優秀賞』受賞の取り組みを一部ご紹介します

大東コーポレートサービスは、障害者の職務設定を見直しするなどのモチベーションをアップさせる工夫により、本人の職域を拡大させ、かつ事業所の生産性も向上させた点などが、他の企業にとっても参考になるとご評価をいただきました。

- (一例) 大東コーポレートサービスが取り組んだ「障害者の職務創出」の工夫
職業生活相談員は、各個人の適正を判断し、自信と職務意識を向上させるとともに本人がその業務に挑戦したいかどうかを確認し、実施することに注力しました。



「目に見えるモノづくり」を実施
親会社(大東建託)の業務のなかで、
少々難易度が高い業務でも、新規
業務を創出し、職域を拡大させた

大東コーポレートサービスでは、名刺をはじめ、右記以外でもネームプレート、ゴム印、工事用図面の製本、工事用看板などさまざまな製品を製作しています。

また、親会社を含めグループ会社の社員たちからは、制作物の品質の良さに「ありがとう!」と声をかけるなど反応があります。双方のコミュニケーションの向上はモチベーションのアップにつながり、結果、事業所の生産性もアップしています。



名刺 10万ケース以上/年



オーナー様向け報告書 72万冊/年



ペーパークラフト 3,000個/年



看板 10万枚以上/年

■ 「障害者雇用職場改善好事例」で5年連続、通算6回目の受賞となりました



9月10日東京国際フォーラムにて表彰式が行われました。

大東コーポレートサービス株式会社は、2005年5月に障害者雇用促進を目的に設立され、特例子会社の認定を受けています。親会社である大東建託からの書類発送業務、印刷業務、事務作業の受託を行い、現在、東京・千葉・北九州の3カ所に事業所があります。2013年8月末現在、社員数は95名（うち障害者62名）で職業生活相談員18名を配置し、個別に指導育成を行いながら職場改善をすすめています。

大東建託グループは、従業員を大切に、これからも障害者雇用促進と定着を進めてまいります。

● 通算6回の受賞について

回数	年度	受賞内容	テーマと講評抜粋
1	平成19年	最優秀賞	テーマ:知的障害者のための職場改善 知的障害者は単純作業しかできないという概念を壊し、グループ全体に理解してもらい、親会社で発生するさまざまな業務を見直し、委託して利益につなげた。
2	21年	優秀賞	精神障害者の新規雇用または職場復帰にむけた職場改善 サポート役の従業員の雇用で、精神障害者の雇用を目的とした部署を新たに設置。短時間勤務から開始し、安定した就労環境を構築した。他
3	22年	優秀賞	上肢に障害を有する肢体不自由者のための職場改善 上肢障害のある社員が不得手な作業に対して時間をかけて挑戦できる機会を設けた。ジョブローテーションにより従事可能な業務を徐々に増やした。他
4	23年	優秀賞	発達障害の新規雇用または職場定着 障害者職業生活相談員の体制を充実させるとともに、トラブルに対してソーシャルスキルトレーニングを活用し、ジョブローテーションを工夫したり休憩時間の過ごし方の支援を行うなど、幅広く配慮した。
5	24年	奨励賞	障害者のキャリアアップと加齢に伴う問題 作業を細分化し、各社員が段階を踏んで確実に習得できる体制を構築。加齢が原因で従事できない業務が発生しても、柔軟に対応し雇用継続につなげている。
6	25年	優秀賞	精神障害者の職務創出、職域拡大および職場定着 モチベーションが低下している社員に対し、職務設定を見直し、一連の業務を任せた。これにより自信を付け、事業所の生産性を向上させた。

以上

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
TEL (03)6718-9068